

## インターン生応募に関する確認書

本確認書は、インターン生応募にあたり、学生の意思確認を図り、受入企業とインターン生にとって有意義な研修期間となる為の事前確認書である。

### 1 インターン生応募の目的・意義について

- ① 海外にての文化交流・国際貢献を目的とする。
- ② 研修を通じて社会を学ぶ。
- ③ 外国語の理解を深めると同時に、文化の違いを学ぶ。

### 2 応募にあたり準備の必要性について

- ① 日本語の習得、日本文化を理解しておく事。
- ② 家族の了解が得られている。
- ③ 3ヶ月間、研修先の寮での生活になるが、生活環境が変わることに抵抗はない。
- ④ 途中帰国は原則認められない。

### 3 日本に入学してからの心構えについて

- ① 研修内容・研修時間等は、各研修先に従うこと。
- ② 出来るだけ日本語を使い、日本語の習得に励む。
- ③ わからない事は、積極的に周りのスタッフに聞く。

### 4 研修について

- ① 日本文化を代表する旅館・ホテルでの研修はお客様を大事にするという認識を持つ。
- ② 日本のおもてなしとして、清潔は旅館・ホテルの基本となるため、主な研修内容として、整理・整頓業務を割り当てられる場合があるので、あらかじめご了承頂きたい。
- ③ 担当者の元、直接お客様に接する事もあるので、相手に不快な思いをさせない。  
(研修中の私語、勝手な休憩、疲れた態度をとる等)
- ④ 各旅館の業務に必要なルールを守る。(入国後オリエンテーションを受ける)
- ⑤ 筆記用具を常に持ち、メモをとる習慣をつける。
- ⑥ 香水は使用不可。風呂に入らない、不潔にしているのも不可。

### 5 私生活について

- ① 私用外出については、受入企業の担当者、学校担任に事前申請し、許可を得ること。
- ② 研修中に喧嘩・トラブルを起こさない。
- ③ 日本の法律を守ること。

6 奨学金について

- ① 研修態度、生活態度、帰国にあたっての片づけが出来た場合に奨学金を支給。

7 海外保険加入について

- ① インターン生は来日前に中国で海外保険に加入する。   
② 入国後、万一の怪我や病気の場合、治療費等は本人が実費負担し、帰国後保険会社と本人との間で実費清算する。

8 研修成果について

- ① 旅館・ホテル情報、温泉地域情報を中国に広めていく研究を課題とする。   
② 「日中文化の相違」、「ホスピタリティサービス意義」としたテーマの研究論文を学校に提出とする必要がある。

研修先での勝手な行動や振る舞いは、研修先にご迷惑をかけるだけでなく、今後の後輩達の研修にも悪い影響を与えてしまいます。  
学校の代表として、研修に臨む姿勢で応募をして下さい。

上記の確認事項を理解し、受入企業・学校に迷惑をお掛けしないことを約束いたします。

確認日：       年    月    日

学校名

---

学校責任者名

---

学生署名

---